

早稲田商学第 416 号  
2 0 0 8 年 6 月

## 2007年度 早稲田商学学生懸賞論文 入賞者

2007年度の早稲田商学学生懸賞論文は、大学院学生の部に3篇、学部学生の部に26篇の応募がありました。

1つの論文につき2名の先生方による一次審査と、その結果を踏まえた2007年3月5日の合同審査会での厳正なる審査の結果、以下の方々が入賞されました。表彰式は3月25日に、大学院学生の部は商学研究科卒業生歓送会の中で、また学部学生の部は商学部卒業生歓送会の中で行われ、賞状と賞金が授与されました。

〈大学院学生の部〉

第一席 該当者無し

第二席 谷内 陽一

「公平性・中立性の観点に立った年金税制のあり方」

以上1篇

佳 作 桜田 圭子

「体験共有マーケティング」

以上1篇

〈学部学生の部〉

第一席 グループ（2名）市川 実、上條 裕平

「拒否権者を伴う重み付き多数決ゲームにおける Shapley-Shubik 指数の計算とその応用」

以上1篇

第二席 川合 雄太郎

「機関設計の多様化と表見代表取締役規定との適用関係」

以上1篇

佳 作 本多 史昌

「医薬品業界の現状と DTC 広告」

佳 作 三浦 洋佑

「日本企業に世界シェア独占をもたらす三つの要素」

佳 作 本行 孝至

「新会社法における株式買取請求権制度」

佳 作 由井 康太郎

「公開買付けによる自社株買いと株価」

佳 作 グループ（5名）大石 克也, 神場 元樹, 鈴木 亮次, 中川 沙耶子, 渡辺 篤

「日本の株式市場における知名度効果」

佳 作 前田 裕樹

「純粋持株会社移行の影響とその有用性」

佳 作 岡崎 麻紀

「企業再編に際する従業員の労働契約承継のあり方」

佳 作 飯島 裕基

「統計分析から判断する大相撲における八百長の存在の可能性」

以上 8 篇